



特別展

日本の宇宙開発
の歴史

JAXA

20年のあゆみ展

宇宙開発の現場で活躍する地元(兵庫県)
出身のJAXA職員にもクローズアップ!!

©JAXA

2023年
7月22日(土)~9月3日(日)

会場 明石市立天文科学館・3階特別展示室

主催：明石市立天文科学館 協力：JAXA 宇宙航空研究開発機構
全国科学館連携協議会

明石市立天文科学館
AKASHI MUNICIPAL PLANETARIUM

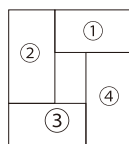


第二宇宙技術部門
茂渡 修平
(兵庫県
加古川市出身)



第一宇宙技術部門
村上 滋希
(兵庫県尼崎市
/ 赤穂市出身)

2003年10月に宇宙航空研究開発機構(JAXA)が発足して、
2023年で20年となります。日本の宇宙開発の歴史を紹介
します。



- ① 準天頂衛星初号機「みちびき」
- ② H-IIA ロケット 34号機による「みちびき2号機」
の打ち上げ
- ③ 小惑星探査機「はやぶさ2」
- ④ 船外活動を行う野口宇宙飛行士

兵庫県出身の JAXA 職員の方々 をクローズアップ!

しげと しゅうへい
茂渡 修平さん



所属：第二宇宙技術部門

はやぶさ2

プロフィール：

加古川市出身。電気系工学専攻で修士課程修了後、2014年JAXA入構。2021年博士号取得。学生時代から、月・惑星探査ロボットの研究、衛星の高精度な姿勢制御の研究などの他、宇宙ステーション浮遊ロボット「Int-Ball」の開発、「はやぶさ2」運用などに携わりました。電気や制御工学の専門知識で宇宙開発に貢献しています。

所属：第一宇宙技術部門

みちびき

プロフィール：

尼崎市 / 赤穂市出身。社会情報学専攻で修士課程終了後、2014年JAXA入構。阪神大震災を5歳のころ尼崎市で被災した経験から、学生時代は主に「情報」×「防災」のテーマで研究を実施しており、JAXA入構後は日本版GPSである「準天頂衛星みちびき初号機」の運用を経て、現在、衛星測位システムの研究開発に携わっています。

☆ 特別展では、その他にも兵庫県にゆかりのあるJAXA職員が携わるミッションの見どころなどを紹介しています。

むらかみ しげき
村上 滋希さん



村上さんのお話が聞けます!

関連イベント!

特別展関連講演会 「もう道に迷わない? ～宇宙から場所と時を知らせる技術～」

宇宙のお仕事にキョウミがある人・大集合～!

兵庫県出身のJAXA職員による、JAXAで働くことになったきっかけや、携わる日本版GPS「準天頂衛星みちびき」についてのお話。

【講師】 JAXA第一宇宙技術部門高精度測位システムプロジェクトチーム 村上 滋希 氏

【日時】 8月27日(日) 午後6時～7時30分

【定員】 150名

【会場】 天文科学館・2Fプラネタリウムドーム

【参加費】 300円(駐車料金別途200円)

【参加方法】 8月5日午前9時～前日17時まで同館ホームページで先着順に受け付け。

※ホームページで申込ができない場合は電話でお問い合わせください。



- 人丸前駅 (山陽電車) から北へ徒歩 3分
- 明石駅 (山陽電車・JR) から東へ徒歩 15分

【開館時間】 9時30分～17時
(最終入館は16時30分)

【休館日】 月曜日・第2火曜日
(祝日・休日と重なる日は開館し翌日が休館)、年末年始

※8/8・14は臨時開館

【観覧料】 大人 700円
(高校生以下無料)

【駐車場】 2時間まで 200円
(以降1時間ごとに100円)

〒673-0877 明石市人丸町2-6
TEL: 078-919-5000 FAX: 078-919-6000
<https://www.am12.jp/>